

五観中だより

広島市立五日市観音中学校『学校通信』第15号(新年号)
平成23年1月7日 発行

【正門前「校訓」碑】



卯年...何見て跳ねる?力を蓄え思いっきりジャンプだ!

ウサギは耳と後ろ足が長く、背中が丸まっています。実は、この体型が、大きな跳躍力を生むのに適しているのです。そんなウサギの年(卯年),2011年が本格的に始動しました。今の学年の残り3ヶ月は、進級・進学する4月によりスタートダッシュがきれるよう、先を見すえて十分な準備・蓄えをする期間ではないでしょうか。

さて、大切なのは何を見すえるか、どんな目標を立てるかです。そして、そこに向かって努力・挑

戦していくことで、どのような飛躍・成長を遂げるかが楽しみです。十代というのは、知識・人格・体力といったさまざまな面が、最も成長する(伸びる)時期です。だから、中学校・高校での学校生活や学校外・社会で積むいろいろな経験は、とても貴重なものとなります。特に、多くの同世代の者と過ごす学生時代は、過ぎてしまえば二度と経験できません。こんな大切な時期だからこそ、何事にも積極的に取り組み、自分を磨くべきではないでしょうか。仲間の良いところをたくさん吸収し、先生方のアドバイスや指導に対して素直に耳を傾け、自分自身の成長の糧としていきましょう。たくさんの人と出会い、多くの時間を過ごす学校には、自分の目標を達成するためのヒントが、必ずあるはずで、個々に前向きな目標をかけた、有意義な日々を送りましょう。

3年生の皆さんは、年末に進路希望を確定し、出願手続きを進めているところだと思います。落ち着いて、そして油断することなく最後の最後までできることをしっかり頑張ってください。

新年明けましておめでとうです。

生徒の皆さん 今年一年何を見すえどのように飛躍(成長)したいですか。前向きな目標をかけた、いろいろなことに挑戦していきましょう。

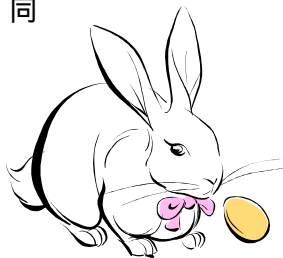
保護者および地域の皆様 昨年は、規律ある学校生活を取り戻すために、学校と家庭・地域が連携を強化できるよう、多大なるご協力・ご支援を賜りました。厚く御礼を申し上げます。お陰様で、幾つかの成果もあがり、少しずつ改善の方向へ進んでいると思います。

しかし、課題(右ページ参照)はまだたくさんあります。生徒たちが社会に出ても恥ずかしくない生き方ができるようにするには、これらの課題に中学生の間に取り組み、改善していかなければなりません。

本年も引き続き、全教職員一丸となって、課題克服に向けての教育活動に励んでいく所存です。昨年同様、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。授業参観や行事などの機会には、ぜひ、学校へお越しく下さい。ご意見やご感想をお聴かせ願えればと思います。(本日、「授業参観のご案内」を配布しました。)

平成二十三年一月七日

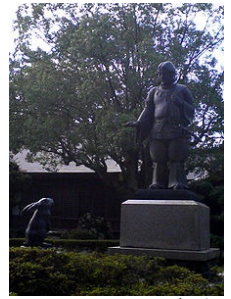
広島市立五日市観音中学校 教職員一同



いなば しろうさぎ “因幡の白兎” 伝説から何が見えてくる？

日本神話の代表作『因幡の白兎』には諸説ありますが、一般に知られている「あらすじ」は、次のとおりです。

因幡の国に美しい姫がいるという噂が伝わっていました。神々は、自分のお嫁さんにしようと、因幡の国へ出かけて行きました。兄神たちは、旅の荷物を全部大国主命に持たせたので、彼は後ろをゆっくりとついて行っていました。先を歩いていた神々が、ある海岸に出ると、毛をむしり取られて赤い肌を出したウサギが死んだようにうずくまっていた。「変なウサギがいるぞ。」...神々は笑いながら、ウサギに言いました。「海水を浴びて、小高い丘の上で風に吹かれて寝ていれば治るぞ。」...ウサギが言われたとおりになると、前よりも痛みがひどくなりました。泣きながら転がっていると、そこに大国主命が兄神たちより遅れて通りかかり、ウサギに理由を尋ねました。こういうことだったので。ウサギが隠岐の島から因幡の国に渡りたいと思い、ある日、海で見つけたワニザメをだまそうと考えました。「ワニザメさん、あなたの仲間はたくさんいるようだけど、私の仲間とどちらが多いか比べっこしようよ。君が仲間を集めて向こうの岸まで並べてごらん、私がその上を跳んで渡りながら数えてあげるよ。」...島から対岸まで見事な橋ができあがりました。ウサギは、もう少しで向こう岸に着こうという時に、あまりの嬉しさについて、「君たちはだまされたのさ。」と言ってしまいました。それに怒ったワニザメは、あと一歩というところでウサギを捕まえ、体中の毛をむしり取り、丸裸にしてしまいました。...これを聞いた大国主命は、「兄神たちは、ワニザメをだましたお前を反省させようと、あんなことを教えたのかもしれない。これからうそをついてはいけませんよ。体を川の真水で洗いなさい。そして、がまの穂綿にくるまっていれば、すぐに治るよ。」と教えてくれました。しばらくすると、ウサギの体には、元のような白い毛が生えてきました。ウサギは言いました。「あの意地悪な兄神様たちは、姫をお嫁にもらうことはできません。姫は、あなた様を選んでしよう。」...大国主命は、また大きな袋をかついで、みんなの後を追って行きました。



人を大切にすることが、自分を大切にすることにつながる。

『因幡の白兎』から、「人をだましたり、あざむいたり、馬鹿にしたりしてはいけません。他人の気持ちを思いやるのが大切さである。」ということを感じ取らなければならないのだそうです。

昨年末のしめの式で、校長先生が話された、「人を大切にする者こそが、人からも大切にされ、結局、自分を大切にすることができるのだ。」という内容に通じるものがあると思います。周囲の仲間や先生・親など、身近な存在の気持ちをくみ取った言動を心がけていけば、困ったり悩んだりしている時に、支えてもらったり、アドバイスをもらえたりするのではないのでしょうか。逆に、ひとりよがりやわがままなことばかりしたり、人をあざむいたり傷つけたりしては、周りの人の気持ちが離れていくでしょう。「人間」は、一人では生きていけません。「人と人之間」で共に支え合って生きていくのです。いろいろな人間関係を大切にしていきましょう。今年一年、そんな成長を遂げてください。

【来年度に向けて...今、取り組むべき課題は...】

学校の現状や、昨年11月末に実施した『学習と生活に関するアンケート』の結果などから、次のようなことを課題としてとらえています。

校内の美化を推進すること

人を思いやり、物を大切にすることを育むこと

服装容儀などの基本的な生活習慣や規範意識を高めること

教員の授業力、生徒の学習意欲を向上させてしっかりと学力をつけること

(『学習と生活に関するアンケート』の一部集計結果を裏面に掲載しています。参照してください。)

昨年末、ホウキが多数折られるという残念な「反社会的行為」がありました。教頭先生が皆さんに訴えられたことを肝に銘じておいてください。

平成22年度 学校自己評価アンケート(平成22年11月末 実施)

『学習と生活に関するアンケート』(生徒用・保護者用) 集計結果 より 一部抜粋

『アンケート』質問項目 下段の“斜体字”が保護者のもの	学年	肯定的評価(%)		否定的評価(%)	
		4よく	3やや	2あまり	1まったく
生 授業はわかりやすいです。 保 子どもの話や参観の様子などから、学校の授業は、子どもたちにとってわかりやすいと思う。	1年	13.5	50.4	24.8	9.2
		7.4	61.7	27.7	3.2
	2年	11.4	51.7	26.8	10.1
		3.4	47.9	44.5	1.7
	3年	11.1	59.1	26.3	3.5
		6.3	67.2	25.0	0.8
生 授業に集中し、熱心に学習しています。 保 子どもの話や参観の様子などから、子どもたちは意欲的に授業に取り組んでいると思われる。	1年	8.5	58.2	30.5	2.8
		5.3	48.9	39.4	6.4
	2年	20.8	55.7	20.1	2.7
		4.2	38.7	52.9	2.5
	3年	26.9	56.1	14.6	1.8
		12.5	64.1	21.1	0.0
生 一週間を平均すると、一日あたりの家庭学習の時間(塾や家庭教師によるものは除く)は、どのくらいですか。 保 同様の質問	1年	5.0	25.5	41.1	28.4
		5.3	24.5	40.4	29.8
	2年	6.7	26.2	44.3	22.8
		4.2	16.0	52.1	27.7
	3年	14.0	35.1	33.3	16.4
		17.2	38.3	30.5	14.1
生 清掃活動に進んでいねいに取り組んでいます。 保 学校は、清掃が行き届き、ゴミが散らかっていないなど、良い環境が保たれている。	1年	11.3	47.5	36.2	5.0
		12.8	52.1	27.7	5.3
	2年	18.1	40.3	32.9	8.7
		9.2	44.5	42.0	4.2
	3年	25.1	52.0	18.1	4.1
		10.9	58.6	25.8	3.9
生 服装など学校のルールやマナーを守って学校生活を送っています。 保 子どもは、時間を守る、服装を正す、忘れ物をしないなど、学校生活の基本ができています。	1年	54.6	30.5	12.1	2.8
		50.0	39.4	7.4	3.2
	2年	48.3	39.6	8.1	4.0
		27.7	48.7	21.0	2.5
	3年	63.2	31.0	5.3	0.6
		43.0	40.6	12.5	3.1
生 先生は、学習意欲が高まるよう、授業での教え方を工夫してくれています。 保 先生は、子どもたちの学習意欲や学力が向上するように、発問や授業展開、課題などを工夫している。	1年	17.7	46.1	26.2	9.2
		5.3	57.4	30.9	4.3
	2年	17.4	36.2	28.9	17.4
		5.0	43.7	42.0	5.9
	3年	16.4	51.5	27.5	4.1
		10.2	61.7	25.0	2.3

質問 は、4が2時間以上、3が1時間以上2時間未満、2が1時間未満、1がほとんどしない。何か所か、学年の数値を合計しても100%になりませんが、若干「無回答」があったためです。